



文化庁委託事業「平成25年度 次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

上野学園大学音楽文化研究センター

第2期

音楽ワークショップ・ファシリテーター養成講座

ファシリテーターって誰？何をする人？

音楽 × 人 × 学び × コミュニケーションを考える4日間

「ファシリテーター」の存在は、芸術教育プログラムの推進役として、音楽の世界でも注目されています。2009年から私どもが毎年実施してきたマイケル・スペンサーによる講座と昨夏のフォーラム「日本におけるファシリテーターの未来像」をふまえ、今年8月に本格的な「音楽ワークショップ・ファシリテーター養成講座」を開講しましたところ、定員を遥かに超える応募がありましたので、再度、開講する運びとなりました。本講座は、ワークショップを学びの場と捉え、その基本的理念、具体的な方法論と実践法を、4日間30時間で詳細に学ぶ場です。音楽ワークショップの専門知識を有する実践的なファシリテーターを目指す方、ぜひご参加ください。



講師：マイケル・スペンサー（元ロンドン交響楽団ヴァイオリン奏者／上野学園大学音楽文化研究センター客員研究員）

ゲスト講師：苅宿俊文（青山学院大学社会情報学部教授） 吉野さつき（愛知大学准教授、ワークショップデザイナー推進機構理事長）

2013年 12月14日(土)・15日(日)・22日(日)・23日(祝) [全4日間]

各日 10:00～18:30 [受付 9:30開始] 会場 上野学園大学オーケストラ・スタジオ他

12月14日(土) 音楽ワークショップへようこそ 12月15日(日) 即興演奏／教育学からみたワークショップ

12月22日(日) テーマを選び、組み立てる 12月23日(祝) 私のワークショップ、あなたのワークショップ

応募条件：①クラシック音楽の基礎的な知識と演奏スキルを持ちあわせ、18歳以上の音楽ワークショップ・ファシリテーターの実践的スキルを学びたい方。ただし、未成年の方は、必ず保護者の同意のもとお申込みください。②原則として、4日間参加できる方。欠席をされた場合でも、受講料の返金はいたしません。

定員：30名 ※申込多数の場合は、先着順といたします。 ※昼食は各自で用意ください。初日12月14日(土)のみ学生食堂をご利用いただけます。

受講料：一般35,000円 学生15,000円 ※学生証をご提示ください。 お申込み方法：専用オンライン・フォーム<<http://goo.gl/sAeQQq>>からお申込みください。

主催：文化庁、学校法人上野学園、上野学園大学音楽文化研究センター 制作：上野学園大学音楽文化研究センター 企画協力：Sound Strategies Ltd.

後援：台東区(申請中)、台東区教育委員会(申請中)、ブリティッシュ・カウンシル、公益社団法人日本オーケストラ連盟、一般社団法人全日本ピアノ指導者協会

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会、特定非営利活動法人ワークショップデザイナー推進機構、文化庁芸術家在外研修員の会

上野学園大学音楽文化研究センター 音楽ワークショップ ファシリテーター養成講座

第2期

本講座では、専門性の高いとみなされがちなクラシック音楽を、わかり易い「言語」「方法」で、ワークショップ参加者にどうしたらより良く伝えられるのかを学びます。

ワークショップを「学びのプロセスを他者と共有する場」ととらえ、音楽に対する理解や知的好奇心の促進だけでなく、参加者自身の感受性、想像・創造力、表現力、コミュニケーション力などを創発できる環境をデザインするファシリテーターの養成を目指しています。

今後、音楽ワークショップに携わる人や参加者が増えれば、音楽ワークショップを核として、音楽家と療法士、音楽家と教育者、ワークショップデザイナーと療法士など、様々な連携やジャンルを越えたコラボレーションも生まれるでしょう。そして、クラシック音楽の聴衆拡大だけでなく、より良い社会・文化づくりへの貢献も期待できます。

上野学園大学では、その中心的存在になれるような、クラシック音楽の理論知識と演奏スキルを持ち合わせたファシリテーター（その能力を有する演奏家）の本格的な養成を今後ずっと力を注いでまいります。



マイケル・スペンサー
Michael Spencer

エドゥケーター
ファシリテーター
ヴァイオリン奏者

元ロンドン交響楽団ヴァイオリン奏者、元英国ロイヤル・オペラ・ハウス教育部長。現在、Sound Strategies経営責任者。バルセロナのOrquestra

Simfònica del Vallès教育プログラム担当。日本協会理事。2010年より上野学園大学音楽文化研究センター客員研究員となり、現在に至る。世界各地で芸術教育プログラムを開発・実践し、さまざまな芸術団体や企業から高い評価を受ける。日本でも社団法人日本オーケストラ連盟・文化庁後援により、24のプロオーケストラと各地で教育プログラムを実施。2006年皇后陛下ご臨席のもと、紀尾井ホールにてワークショップ型コンサート開催。08年には、教育ディレクターを務めた『ピーターと狼』がアカデミー賞（短編アニメ部門）を受賞した。11年にTED×WWF（世界自然保護基金）出演。12年、英国免疫学会の依頼を受け、科学者と芸術家、地域コミュニティとの共生を目的とした芸術プログラムを英国各地で制作・実践した。12年よりLeonardo European Corporate Learning Awardsの企画協力およびプレゼンター。

お問い合わせ／会場

上野学園大学音楽文化研究センター

〒110-8642 東京都台東区東上野4-24-12

tel 03-3842-1021 [平日8:30-18:30 / 8:30-15:30]

fax 03-3843-7548

www.uenogakuen.ac.jp

onbunken@uenogakuen.ac.jp

◎駐車場はございません。ご来校の際は、公共交通機関をご利用ください。
◎やむを得ない事情で、予告なく内容等が変更になる場合がございます。

12月14日	10:00- 12:30 session 1	音楽ワークショップへようこそ
	13:30- 15:30 session 2	ファシリテーターとは？～豊かな学びをつくるために
	15:40- 17:30 session 3	音楽づくりの基本
	17:40- 18:30	振り返り
12月15日	10:00- 12:00 session 4	なぜワークショップ？～教育学からみたワークショップ 荻宿俊文氏（青山学院大学社会情報学部教授）
	13:00- 14:00 session 5	オープンディスカッション——荻宿氏を交えて
	14:15- 17:30 session 6	楽器と即興演奏 ・教育楽器に親しむ ・効果的なアンサンブルの作り方 ・即興演奏に挑む
	17:40- 18:30	振り返り
12月22日	10:00- 12:00 session 7	テーマとレパートリー ～更なる効果を目指して
	13:00- 14:30 session 8	ワークショップを組み立てる
	14:45- 15:30	振り返り
	15:30- 18:30 session 9	アイデアをワークショップ化する
12月23日	10:00- 12:00 session 10	発表：私のワークショップ、あなたのワークショップ①
	13:00- 14:00	発表：私のワークショップ、あなたのワークショップ②
	14:10- 15:40 session 11	コラボレーションの愉しみ、アート・ワークショップの多様性 吉野さつき氏（愛知大学准教授・ワークショップデザイナー推進機構理事長）
	15:40- 16:30	オープンディスカッション——吉野氏を交えて
	16:40- 18:30 session 12	総括：ファシリテーターの役割、私たちができること

第1期 参加者の声

ある 42%
音楽ワークショップに補助的な役割で関わったことがある。
11%
これまでに5回以上、ファシリテーター（リーダー）として音楽ワークショップを行ったことがある。

ない 47%
音楽ワークショップに興味はあるが、ファシリテーターとして活動したことはない。

Q 講座内容はいかがでしたか？

96% 期待以上だった
期待通りだった

Q 講座の難易度は？

50% ちょうど良かった
8% 簡単すぎた
42% 難しかった

Q 開催日程は適切でしたか？

76% ちょうど良かった
8% 長すぎた
8% 短すぎた

Q ご職業は？

47% 社会人
文化事業担当者
文化施設・団体職員
大学教員、幼稚園経営
ピアノ教師など
47% 大学生
6% 音楽家

今までやってきた内容から学んだことを基に、各グループでワークを考え実践する機会があったのが良かった。実際にファシリテートすることで、実際にファシリテートすることで、知識がより深まったし、新たな課題が見えたように思う。

同じファシリテーターを目指す人の集まりだったが、立場の違いがあり、だから、仕事がスムーズに進められないことを再認識した。音大生の考え方や発言が、とても新鮮で面白かった。

ワークショップがこんなにも深いとは思いませんでした。本当に勉強になりました。もっともっと勉強したいです。

今までの知識や学び、自分が考え感じていたこととリンクさせ、再認識できる場であった。